

年頭所感

公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
会 長 神山 清志

新年あけましておめでとうございます。

会員・賛助会員・県民の皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

旧年中は会務運営に多大なるご支援、ご指導、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、昨年1月に新型コロナウイルス（SARS-COV2）による新型肺炎（COVID-19）が発生し、瞬く間に世界に蔓延して多くの尊い命が奪われる事態となり、現在も終息の兆しすら見えない状況が続いております。当県においても一度は落ち着きを見せたものの秋口より新規感染者数が増え続け、病院や老人保健施設でのクラスター発生等が軒並み報じられ、県民の皆様もこの状況に大きな不安を抱いていることと察します。このような中で私たち臨床検査技師は医師の指示の下で検体採取、遺伝子検査、抗原検査の実施を行い、感染の可能性のある方々が速やかに診断され適切な治療・療養を迅速に受けられるよう努力しております。

このような状況の中で、本来ならば楽しい正月休暇のはずが、新型コロナウイルスのために正月返上で勤務なさった会員も多かったことと思います。大変お疲れさまでした。

さて、今年の干支は丑です。十二支の動物の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い丑（牛）の年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切とされています。新型コロナウイルスの対策は急を要しますが、私ども埼臨技としては「根拠に乏しい情報」に振り回されることなく、客観的に検証されたものを取り入れ、実施・啓発を行う所存です。

令和3年。新しい年が、皆さまにとって素晴らしい年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。